

令和7年度 広葉樹林化加速化検討チーム会議 議事要旨

岐阜県森林経営課

1. 第1回

- ① 実施日：令和7年6月30日（月）
- ② 場 所：シンクタンク庁舎 入札室
- ③ 出席者：9名（チームのメンバー以外の者を除く）
- ④ 議事要旨：事務局から、広葉樹林化加速化検討チーム設置の経緯について説明
事務局から、既存の技術指針等について概要を説明
事務局から、検討中の針広混交林化するモデル事業の概要や事業地の募集条件等について説明
上記の説明後、意見を聴取。主な意見は次のとおり
 - ・針広混交林化や広葉樹林化の取組は失敗事例が多いのが現実
 - ・奥山で取組を進める場合、シカ対策の防護柵や捕獲は困難
 - ・シカ捕獲は、広域で長期間継続しなければ効果を発揮しない
 - ・シカ捕獲は、場所を特定して実施するのは現実には難しい
 - ・シカ防護対策と捕獲を同時に実施した場合、データの分離が困難であるため、効果検証も困難となる

2. 第2回

- ① 実施日：令和7年9月30日（火）
- ② 場 所：シンクタンク庁舎 3-2 会議室
- ③ 出席者：11名（チームのメンバー以外の者を除く）
- ④ 議事要旨：事務局から、モデル事業のスキーム、モデル事業の候補地について説明
事務局から、群状伐採地における広葉樹植栽事例の調査結果について説明
事務局から、郡上市内候補地におけるモデル事業の検討内容について説明
上記の説明後、意見を聴取。主な意見は次のとおり
 - ・群状伐採地における広葉樹植栽事例の知見を活かされたい
 - ・天然更新や植栽の成林に、シカ密度は影響を及ぼす
 - ・シカ密度は局所的に異なる。被害発生グレード等について森林総合研究所が研究成果を公表しているので活用を検討されたい
 - ・効果検証に必要な対照区を設置すること
 - ・自動撮影カメラによりシカ密度推定を実施する場合は、カメラ設置

が特殊となるため、実施前に調査設計を行うこと

3. 第3回

① 実施日：令和8年2月5日（木）

② 場 所：シンクタンク庁舎 入札室

③ 出席者：12名（チームのメンバー以外の者を除く）

④ 議事要旨：事務局から、主伐段階にある間伐施行地の調査結果事例を報告

事務局から、針広混交林化施業技術開発モデル事業の内容、効果検証
手法検討内容について説明

上記の説明後、意見を聴取。主な意見は次のとおり

- ・ 針広混交林化、広葉樹林化、列状伐採、帯状伐採等、用語について定義すること
- ・ 目指す森林のイメージが分かるよう理想の写真や図等を示し、イメージの統一を図ると良い
- ・ 広葉樹林化率の算出方法が分かりづらいため、図を用いた説明を追加されたい
- ・ 達成評価基準について、検討を深める必要がある
- ・ 説明のあったシカ調査方法は労力を要するため、簡易な方法としてどうか
- ・ シカ調査に関して、県内ではSDRデータが1,000件以上ある。この蓄積データの活用も考えて、SDRに準じた調査としてはどうか
- ・ 効果検証に関する調査項目は、目標未達の場合、原因分析ができる項目とされたい

以上